

令和五年度 事業報告書

特定非営利活動法人食の安全と安心を科学する会

1 事業の成果

◎食の安全と安心に関する研究の推進（共同研究・委託研究・受託研究）

1. 東京大学（桑原正貴先生）との共同研究（山崎）研究費支出額：100万円／令和5年度
テーマ：「スマート・リスクコミュニケーションの改良研究」▶進行中
2. 伊藤記念財団助成研究 令和5年度：年間150万円
テーマ：「食肉の健康リスクと環境リスクに係るリスクコミュニケーション手法の研究ならびに効果検証」
2. 品質と安全文化フォーラム：法人会員年会費：12.5万円

◎食の安全と安心に関する学術啓発活動（SFSS：NPO食の安全と安心を科学する会）

1. 食の安全と安心フォーラム第24回（2/19）
『ヒトと地球の健康にどう取り組む？～食品の安全性／機能性／SDGs対応を議論する～』
主催：SFSS、後援：消費者庁・東大農学生命科学研究科、賛助・協賛各社
2. 徳島県リスクミ講演会（3/12）@徳島市（ハイブリッド）
『ホントに安全？知りたい、健康食品のリスクってなんだろう』
主催：徳島県、共催：消費者庁、徳島県リスクコミュニケータも登壇、SFSSがハイブリッド運営受託、司会：山崎
3. 食のリスクコミュニケーション・フォーラム（4/23、6/25、8/27、10/29）、主催：SFSS
テーマ：①食中毒微生物、②トリチウム処理水、③食品添加物、④健康食品
4. 食の安全と安心フォーラム第25回（7/23）『食物アレルギーのリスク低減策について』
主催：SFSS、後援：消費者庁・東大農学生命科学研究科、賛助・協賛各社
5. 徳島県消費者大学校大学院講座（9/5、9/12、9/19、9/26、10/3）@徳島市&Zoom（ハイブリッド）
『食品安全リスクコミュニケータ養成』、主催：徳島県・消費者庁、赤城理事・山崎が登壇、SFSS運営
6. 食の安全・安心懇話会①（5/30）@Zoom『PFAS：海外と日本における法規制とリスク評価の経緯』
講師：畝山智香子先生（国立医薬品食品研究所）、司会進行：山崎、食品事業者限定セミナー
7. 第9回タマゴシンポジウム（9/29）@キューピー本社ホール（ハイブリッド開催をSFSSで受託）
主催：タマゴ科学研究会、後援：農林水産省、日本栄養・食糧学会、日本食品科学工学会、SFSSほか
8. 『食品安全フォーラム in とやま』（11/2）@富山市、主催：富山県
講師：山崎理事長『消費者の不安に寄り添う食のリスクコミュニケーション』
9. 大津市食の安全・安心シンポジウム（12/9）
「正しく知ろう！食品添加物 ～食の安全とリスクを理解する～」
講師：山崎理事長『食のリスクコミュニケーション ～無添加表示による安心が助長するリスク誤認～』

10. SFSS 食のリスクコミュニケーター養成講座（第2期）：最終講義（12/17）@Zoom

主催：SFSS、講師：山崎理事長、本年開催のフォーラム6回に要参加⇒9名に修了証書発行予定

11. 食品安全・食のリスクの真実に関する書籍出版（著者：小島正美・山崎毅：専門家13人に取材）

◎食の安全と安心に関わる中立的情報公開（詳細はこちら⇒ <https://www.nposfss.com/>）

1. 季刊誌：2月（冬号）、5月（春号）、8月（夏号）、11月（秋号）の4回発行済み。

編集長：山崎、編集委員：miruhana（事務局より郵送）

2. メルマガ：山崎から毎月不定期に1~2回のご案内メール配信（配信先：約1900名）、編集：山崎

3. ホームページ：活動予定、報告、Q&A、ファクトチェック、理事長雑感等、編集：山崎、miruhana

4. Facebook ページ：活動予定、ファクトチェック、理事長雑感等、編集：miruhana

5. X（元ツイッター）：BOTで毎日発信（500~700件/月、68万PI/2023年）：編集：山崎、miruhana

6. メディア掲載情報：

■4月 日本食糧新聞『食の安全と安心を科学する会、食のリスクミフォーラム 23日から全4回開催』

■5月 日本食糧新聞『食の安全と安心を科学する会、食のリスクコミュニケーション・フォーラム開催』

■8月 日本食糧新聞『SFSS、「食物アレルギーのリスク低減策」テーマにフォーラム開催』

■10月 国立健康・栄養研究所HP 『専門家に聞きました：ファクトチェック』（山崎理事長寄稿）

■11月 教えて！goo『日本は海外より使用可能な添加物数が多い？』（山崎理事長取材）

■12月 鶏鳴新聞『日本卵業協会での秋季講演会(11/7)』（山崎理事長が鳥インフルの安全・安心について）

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【5,009】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
食の安全と安心に関する研究の推進	食の安全と安心に関する研究を1テーマ採択した。	上記「1. 事業の成果」のとおりに、4月より継続。	東京大学大学院農学生命科学研究科	3人	生活者全般、食品関連企業および研究機関	不特定多数	1,000
食の安全と安心に関する学術啓発活動	フォーラム、研修会等の開催、運営、およびその広報活動を実施した。	2/19, 3/12, 4/23, 5/30, 6, 25, 7/23, 8/27, 9/5, 9/12, 9/19, 9/26, 9/29, 10/3, 10/29, 11/2, 12/9, 12/17,	東京大学農学部、徳島市、富山市、大津市ほか	10人	生活者全般、食品関連企業および研究機関	800人	2,993
食の安全と安心に関わる中立的情報公開	ホームページを構築・管理し、広報活動を実施。季刊誌・メルマガを定期的に発行した。	上記「1. 事業の成果」のとおりに、1年を通して継続。	NPO事務局	3人	生活者全般、食品関連企業および研究機関	不特定多数	1,016

令和五年度 活動計算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人食の安全と安心を科学する会
（単位：円）

科 目	金 額	小計・合計
(A) 経常収益		
1 受取会費		4,633,000
正会員受取会費	633,000	
賛助会員受取会費	4,000,000	
2 受取寄附金		46,000
受取寄附金	46,000	
3 受取助成金等		1,500,000
受取補助金	1,500,000	
4 事業収益		3,557,108
事業収益（参加費）	434,848	
事業収益（協賛金）	500,000	
事業収益（業務受託費）	2,622,260	
5 その他の収益		16
受取利息	24	
経常収益計		9,736,124
(B) 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		1,255,000
フォーラム等講師料	1,255,000	
(2) その他経費		3,753,913
広報費	1,015,600	
研究委託費等	1,000,000	
フォーラム等運営・業務委託費	1,263,803	
フォーラム等会場費	290,610	
寄付金支出	183,900	
事業費計		5,008,913
2 管理費		
(1) 人件費		730,000
給料手当	730,000	
福利厚生費	0	
(2) その他経費		2,659,476
消耗品費	668,644	
通信運搬費	249,058	
地代家賃	600,000	
旅費交通費	739,773	
接待交際費	30,000	
飲食（会議）費	145,831	
水道光熱費	88,483	
税金	104,277	
振込手数料	33,410	
管理費計		3,389,476
経常費用計		8,398,389
当期経常増減額【A】－【B】・・・①		1,337,735
(C) 経常外収益		
固定資産売却益		
過年度損益修正益		
経常外収益計		0
(D) 経常外費用		
固定資産売却損		
災害損失		
過年度損益修正損		
経常外費用計		0
当期経常外増減額【C】－【D】・・・②		0
税引前当期正味財産増減額①+②・・・③		1,337,735
法人税、住民税及び事業税・・・④		
前期繰越正味財産額・・・⑤		1,495,223
次期繰越正味財産額③－④+⑤		2,832,958

令和五年度 貸借対照表

特定非営利活動法人食の安全と安心を科学する会
(単位：円)

科	目	金額	小計・合計
【A】	資産の部		
1	流動資産		
	現金預金	2,832,958	
	未収金		
	棚卸資産		
	流動資産合計・・・①		2,832,958
2	固定資産		
	(1)有形固定資産		
	車両運搬具		
	什器備品		
	(2)無形固定資産		
	ソフトウェア		
	借地権		
	(3)投資その他の資産		
	敷金		
	長期貸付金		
	固定資産合計・・・②		
【A】	資産合計 ①+②		2,832,958
【B-1】	負債の部		
1	流動負債		
	未払金		
	預り金		
	流動負債合計・・・③		
2	固定負債		
	長期借入金		
	退職給付引当金		
	固定負債合計・・・④		
	負債合計 ③+④		
【B-2】	正味財産の部		
	前期繰越正味財産額	1,495,223	
	当期正味財産増減額	1,337,735	
	正味財産合計		2,832,958
【B】	負債及び正味財産合計 【B-1】+【B-2】		2,832,958